

SPRing-8 運転・利用状況

国立研究開発法人理化学研究所
放射光科学研究センター

◎平成 30 年 9～12 月の運転実績

SPRing-8 は 9 月 27 日から 11 月 9 日までセベラルバンチ運転で第 5 サイクルの運転を行い、11 月 12 日から 12 月 21 日までセベラルバンチ運転で第 6 サイクルの運転を実施した。第 5～6 サイクルでは SR 六極電磁石電源 6 (チョッパーモジュール 5) の電流異常によるビームアボート等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間 (ユーザータイム) 内での故障等による停止時間 (down time) は、第 5 サイクルは約 1.2%、第 6 サイクルは約 0.7%であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第 5 サイクル (9/27 (木) ～11/9 (金))

第 6 サイクル (11/12 (月) ～12/21 (金))

(2) 運転時間の内訳

第 5 サイクル

運転時間総計 約 1,033 時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約 169 時間

②放射光利用運転時間 約 853 時間

③故障等による down time 約 10 時間

④フィリング変更時間 約 1 時間

総放射光利用運転時間 (ユーザータイム = ② + ③

+ ④) に対する down time の割合 (*1) 約 1.2%

第 6 サイクル

運転時間総計 約 936 時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約 96 時間

②放射光利用運転時間 約 833 時間

③故障等による down time 約 6 時間

④フィリング変更時間 約 1 時間

総放射光利用運転時間 (ユーザータイム = ② + ③

+ ④) に対する down time の割合 (*1) 約 0.7%

(3) 運転スペック等

第 5 サイクル (セベラルバンチ運転)

・ 1/14-filling + 12 bunches (F)

・ 1/14-filling + 12 bunches (F)

・ 203 bunches (A)

・ 11/29-filling + 1 bunch (H)

第 6 サイクル (セベラルバンチ運転)

・ 203 bunches (A)

・ 11/29-filling + 1 bunch (H)

・ 11 bunch train × 29 (C)

・ 11 bunch train × 29 (C)

・ 203 bunches (A)

・ 入射は電流値優先モード (2～3 分毎 (マルチバンチ時) もしくは 20～40 秒毎 (セベラルバンチ時) の Top-Up モード) で実施。

・ 蓄積電流 8 GeV、～100 mA

(4) 主な down time の原因

・ SR 六極電磁石電源 6 (チョッパーモジュール 5) 電流異常によるアボート

・ BL11XU 安全インターロックによるアボート

2. 利用関係 (JASRI 利用推進部 集計)

(1) 放射光利用実験期間

第 5 サイクル (10/2 (火) ～11/9 (金))

第 6 サイクル (11/13 (火) ～12/20 (木))

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン 26 本

専用ビームライン 19 本

理研ビームライン 12 本

第5サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数	418 件
共同利用研究者数	1,913 名
専用施設利用研究実験数	267 件
専用施設利用研究者数	1,098 名

第6サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数	432 件
共同利用研究者数	2,084 名
専用施設利用研究実験数	297 件
専用施設利用研究者数	1,269 名

◎今後の予定（冬期点検調整期間）

SPring-8 は 12 月 22 日から 1 月 14 日まで冬期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行う予定である。

◎平成 31 年 1～3 月の運転予定

SPring-8 は 1 月 15 日から 2 月 14 日までセベラルバンチ運転で第 7 サイクルの運転を予定している。

2 月 15 日から 3 月 26 日まで年度末点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行う予定である。

第 7 サイクルの運転実績については次号にて掲載する。

(*1) down time の割合に④フィリング変更時間は含まない。